



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 株式会社松屋アールアンドディ 上場取引所 東
コード番号 7317 URL <https://matsuyard.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長CEO（氏名）後藤秀隆
問合せ先責任者（役職名）常務取締役CFO経営管理部長（氏名）松川浩一（TEL）0779-66-2096（代表）
半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 （機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	4,539	△8.0	1,027	△3.3	1,096	0.5	861	8.2
2025年3月期中間期	4,932	18.5	1,062	72.3	1,091	76.3	796	82.2

（注）包括利益 2026年3月期中間期 170百万円（△83.1%） 2025年3月期中間期 1,008百万円（11.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	40.34	40.00
2025年3月期中間期	37.49	37.05

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	10,987	6,898	62.8
2025年3月期	10,907	6,932	63.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 6,898百万円 2025年3月期 6,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	0.3	2,000	2.4	2,080	1.2	1,603	2.7	75.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	21,375,600株	2025年3月期	21,342,800株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	4,712株	2025年3月期	4,712株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	21,353,733株	2025年3月期中間期	21,241,500株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用や所得環境が改善する中、個人消費の緩やかな回復や設備投資の持ち直しの動きのほか、米国との通商交渉が合意に達し大統領令の署名により正式に発効されるなど将来の経済活動に対する懸念を和らげる動きもみられました。一方、金利上昇や為替の変動、原材料・資源価格の高騰、人件費の上昇による企業業績の下振れリスクが高まっております。加えて、物価上昇による個人消費の減退が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは生産能力増強のため、ベトナム工場の近隣地に新たな工場を建設することを決議し、2026年9月完成に向けてプロジェクトを開始しました。また、当社におきましても生産スペース不足解消と生産効率向上を目指し本社近隣地域に新工場の建設を決定するとともに2026年3月完成を目指して、今後の取引拡大を見据えた活動を進めました。

メディカルヘルスケア事業における血圧計腕帯では、円高による影響はあるものの、主にベトナムでの出荷が堅調に推移しました。リハビリロボット関連では「Luna EMG」の製造元であるEGZO Tech社との協業体制のもと、学会等の展示や病院へのデモ実施など販促活動を継続しております。

セイフティシステム事業における縫製自動機では、前期の中国向けレーザー裁断機等の大口売上に対する反動減はあるものの、引続きインド向けの受注が戻ってきているほか、中南米や東南アジアでの自動機の需要が高まっております、これらの営業活動に注力しました。

エアバッグ関連では5月からベトナムで新規製品の出荷を開始したほか、カーシート関連では前期におけるタカハタ株式会社株式譲渡に伴う連結除外により売上が減少したものの、ベトナムでの生産が好調に推移しました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高4,539,197千円(前年同期比8.0%減)、営業利益1,027,834千円(前年同期比3.3%減)、経常利益1,096,605千円(前年同期比0.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は861,437千円(前年同期比8.2%増)となり、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益では3年連続して過去最高となりました。

なお、当中間連結会計期間における各セグメントの概況は、次のとおりであります。

(メディカルヘルスケア事業)

メディカルヘルスケア事業につきましては、血圧計腕帯においては為替について円高の影響があったものの、ベトナムにおける生産が好調に推移したことや工場におけるコストダウン効果により、増収増益に推移しました。

以上の結果、売上高は3,064,183千円(前年同期比2.7%増)、セグメント利益は975,494千円(前年同期比5.5%増)となりました。

(セイフティシステム事業)

セイフティシステム事業における縫製自動機につきましては、前期大口案件が続いたことに対する反動減があり、小規模な案件が中心となりました。また、エアバッグについては一部販売先の機種入替により前年同期比で減収減益となったものの、カーシートについてはベトナム工場での生産が好調に推移し、採算性が大きく改善した結果、利益の減少は小幅にとどまりました。

以上の結果、売上高は1,382,622千円(前年同期比26.1%減)、セグメント利益は254,292千円(前年同期比4.1%減)となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、レーザー裁断機や四国の販売先にタオル縫い機などを納入しました。

以上の結果、売上高は92,392千円(前年同期比20.3%増)、セグメント損失は19,399千円(前年同期はセグメント利益25,407千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて217,868千円増加し、7,719,224千円となりました。これは主として、原材料及び貯蔵品が218,361千円減少したことに対して、受取手形、売掛金及び契約資産が350,794千円、商品及び製品が89,330千円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて138,472千円減少し、3,267,810千円となりました。これは主として、その他投資資産が118,908千円増加したことに対して、建物及び構築物が126,164千円、土地使用権が103,794千円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて79,395千円増加し、10,987,034千円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて189,834千円増加し、2,303,980千円となりました。これは主として役員退職功労引当金が14,000千円減少したことなどに対して、電子記録債務が62,844千円、未払金が91,393千円、賞与引当金が30,897千円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて76,468千円減少し、1,784,796千円となりました。これは長期借入金が54,000千円、その他固定負債が32,621千円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて113,365千円増加し、4,088,777千円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は6,898,257千円と、前連結会計年度末に比べて33,970千円減少となりました。これは、譲渡制限付株式報酬による新株発行及び新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ4,669千円増加、親会社株主に帰属する中間純利益を861,437千円計上したことに対して、利益剰余金の配当により213,380千円、為替換算調整勘定が691,364千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の63.6%から62.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は4,111,312千円と、前連結会計年度末に比べ128,285千円増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は808,863千円(前年同期は1,382,961千円の獲得)となりました。

これは主として、売上債権の増加が460,949千円、法人税等の支払いが194,404千円あったことに対して、税金等調整前中間純利益が1,095,609千円、仕入債務の増加が157,119千円、未払金の増加が133,007千円あったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は153,914千円(前年同期は413,736千円の使用)となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出が139,907千円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は295,243千円(前年同期は33,665千円の獲得)となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出が54,000千円、配当金の支払いが213,043千円、リース債務の返済による支出が26,874千円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期業績予想につきましては、2025年5月15日付で「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、当第2四半期連結会計期間末現在、業績は期初の計画を超えて順調に進捗しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,137,356	4,163,315
受取手形、売掛金及び契約資産	1,300,782	1,651,577
電子記録債権	6,380	—
商品及び製品	392,847	482,177
仕掛品	155,500	194,953
原材料及び貯蔵品	1,274,445	1,056,084
その他	234,043	171,116
流動資産合計	7,501,356	7,719,224
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,473,283	1,347,118
機械装置及び運搬具(純額)	191,974	237,502
土地	49,711	48,453
建設仮勘定	109,188	66,177
その他(純額)	161,559	161,959
有形固定資産合計	1,985,717	1,861,209
無形固定資産		
土地使用権	939,957	836,163
その他	345,556	311,150
無形固定資産合計	1,285,514	1,147,313
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,524	6,851
その他	133,526	252,435
投資その他の資産合計	135,050	259,286
固定資産合計	3,406,282	3,267,810
資産合計	10,907,639	10,987,034

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	417,515	434,140
電子記録債務	99,374	162,218
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	108,000	108,000
未払金	438,315	529,709
未払法人税等	105,169	124,103
賞与引当金	38,778	69,675
受注損失引当金	2,294	4,428
役員退職功労引当金	14,000	—
その他	140,698	121,705
流動負債合計	2,114,146	2,303,980
固定負債		
長期借入金	1,450,000	1,396,000
退職給付に係る負債	95,599	99,921
繰延税金負債	90,359	96,190
その他	225,306	192,684
固定負債合計	1,861,265	1,784,796
負債合計	3,975,411	4,088,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,088	40,757
資本剰余金	525,985	530,654
利益剰余金	5,502,343	6,150,400
自己株式	△479	△479
株主資本合計	6,063,938	6,721,333
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	868,289	176,924
その他の包括利益累計額合計	868,289	176,924
純資産合計	6,932,227	6,898,257
負債純資産合計	10,907,639	10,987,034

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,932,198	4,539,197
売上原価	3,374,658	2,992,668
売上総利益	1,557,540	1,546,529
販売費及び一般管理費	494,962	518,694
営業利益	1,062,577	1,027,834
営業外収益		
受取利息	3,115	5,265
受取配当金	0	0
為替差益	38,981	92,154
その他	4,306	1,636
営業外収益合計	46,404	99,058
営業外費用		
支払利息	16,002	15,735
賃貸借契約解約損	—	5,329
その他	1,685	9,222
営業外費用合計	17,688	30,287
経常利益	1,091,294	1,096,605
特別損失		
固定資産除却損	—	995
特別損失合計	—	995
税金等調整前中間純利益	1,091,294	1,095,609
法人税、住民税及び事業税	238,430	233,688
法人税等調整額	56,444	483
法人税等合計	294,874	234,172
中間純利益	796,419	861,437
親会社株主に帰属する中間純利益	796,419	861,437

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	796,419	861,437
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	212,004	△691,364
その他の包括利益合計	212,004	△691,364
中間包括利益	1,008,423	170,072
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,008,423	170,072

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,091,294	1,095,609
減価償却費	94,874	92,429
賞与引当金の増減額(△は減少)	27,426	33,233
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	2,133
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	967	4,842
受取利息及び受取配当金	△3,116	△5,266
支払利息	16,002	15,735
為替差損益(△は益)	18,464	3,161
売上債権の増減額(△は増加)	68,616	△460,949
棚卸資産の増減額(△は増加)	414,736	△72,451
仕入債務の増減額(△は減少)	△82,322	157,119
未払金の増減額(△は減少)	△160,585	133,007
未払又は未収消費税等の増減額	86,810	36,421
その他	15,971	△21,821
小計	1,589,138	1,013,207
利息及び配当金の受取額	3,156	5,244
利息の支払額	△18,192	△15,184
法人税等の支払額	△191,140	△194,404
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,382,961	808,863
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,528	△17,797
定期預金の払戻による収入	17,531	10,325
有形固定資産の取得による支出	△12,581	△139,907
無形固定資産の取得による支出	△299,510	—
保険積立金の積立による支出	△100,000	—
その他	1,351	△6,535
投資活動によるキャッシュ・フロー	△413,736	△153,914
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	40,000	—
長期借入れによる収入	130,000	—
長期借入金の返済による支出	△64,270	△54,000
配当金の支払額	△53,060	△213,043
リース債務の返済による支出	△21,777	△26,874
その他	2,773	△1,326
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,665	△295,243
現金及び現金同等物に係る換算差額	43,012	△231,419
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,045,903	128,285
現金及び現金同等物の期首残高	2,171,278	3,983,027
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,217,181	4,111,312

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディカル ヘルスケア	セイフティ システム	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,983,269	1,872,145	76,782	4,932,198	—	4,932,198
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,983,269	1,872,145	76,782	4,932,198	—	4,932,198
セグメント利益	924,266	265,206	25,407	1,214,880	△152,303	1,062,577

(注) 1. セグメント利益の調整額△152,303千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディカル ヘルスケア	セイフティ システム	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,064,183	1,382,622	92,392	4,539,197	—	4,539,197
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,064,183	1,382,622	92,392	4,539,197	—	4,539,197
セグメント利益又は損失 (△)	975,494	254,292	△19,399	1,210,387	△182,552	1,027,834

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△182,552千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。